

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 17日 (金)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 古川晃 岩村茉莉 松田あかね 福岡輝  
宮脇麻衣子 高福幸子 新野綾香 兵頭信也  
吉田真紀子 中村嘉孝 曾根環 田中絵莉子  
日野佳子 菅原佐代子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	3	10		14

前回の改善計画

再度、アセスメントを行い、利用者さんを知ることから始めなければならない。日々、関わる上で介護のヒントや利用者さん一人一人の安心感に繋がると考えられる。

前回の改善計画に対する取組み結果

基本的なアセスメントは取れているが、過去の生活歴など「その人を知る」ための材料としては不足している。利用が始まった後にご本人や家族から聞き取りし、日々の関りに活かせればよかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	11	1		14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	12			14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	10			14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	11			14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
利用開始前にCMや管理者がアセスメントを実施し、情報シートを作成、共有している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ミーティングがあまりできず、サービス開始前の情報は、シートや申し送りノートのための確認になりがちだった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
ミーティングで話し合いができるよう、特に②に対して具体的にリストアップし、職員間で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 17日 (金)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 古川晃 岩村茉莉 松田あかね 福岡輝  
宮脇麻衣子 高福幸子 新野綾香 兵頭信也  
吉田真紀子 中村嘉孝 曾根環 田中絵莉子  
日野佳子 菅原佐代子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	4	9		14

前回の改善計画
ご本人の生活を支援する上で、職員間でも情報を共有し、さらに連携を図っていかねばならない。そのためにもケアプランの内容を周知していく必要がある。
前回の改善計画に対する取組み結果
職員間の情報共有は連絡ノートを使って行っている。ケアプランに関しては、コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、ミーティングの機会が少なかったが、都度、各自で確認するよう促した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	5	7		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	4	9		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	10		14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	4	5	4	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ご本人の目標 (大きな) は、支援の中でほぼ実現できている。(サービスに関しては) また、ご本人の今の体の状態や体調を見て、どのような支援が必要なのかは考えて実行できている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・きちんとモニタリングができておらず、「～したい事」が単発的な支援になっている。 ・コロナウィルス感染症の関係もあり、外出なども減り、「～したい」を実現しにくい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	去年までは CM を中心にモニタリングを行っていたが、今後はミーティングなどで職員全体での振り返りを行う。また、「～したい」を引き出せるよう、利用者との関わりを見直す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 17日 (金)

3. 日常生活の支援

メンバー 古川晃 岩村茉莉 松田あかね 福岡輝  
宮脇麻衣子 高福幸子 新野綾香 兵頭信也  
吉田真紀子 中村嘉孝 曾根環 田中絵莉子  
日野佳子 菅原佐代子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	12			14

前回の改善計画	定期的にあセスメントシートを更新し、職員一人一人が利用者さんの状態把握に努める。また、チームで支援するため日々の申し送りなどで情報共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の申し送りで情報共有を行えている。あセスメントシートの更新はできておらず。ミーティングなどで適宜、話し合い更新する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	3	7	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	9			14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	2	5	5	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	12			14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	11			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 日々の申し送りはきちんとできている。 ご本人の会話や表情の変化に十分に気付いている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 以前の暮らし方に関して、その人を知るための材料として不足している。普段の会話や家族から聞き取りする必要がある。ミーティングに関して、コロナウィルス感染症の関係で出来ないことが多かった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) あセスメント更新時に、昔の生活歴などもっと詳しく、その人なりがわかる内容にしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 17日 (金)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 古川晃 岩村茉莉 松田あかね 福岡輝  
宮脇麻衣子 高福幸子 新野綾香 兵頭信也  
吉田真紀子 中村嘉孝 曾根環 田中絵莉子  
日野佳子 菅原佐代子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		6	8		14

前回の改善計画  
 コロナ禍だからこそ、必要な支援が途切れないよう、サポートしなければならない。ご本人の状態観察も含め、必要な支援は何か見極め、保険外サービスなど柔軟な対応をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 小規模にてコロナのクラスターが発生し、通所のサービスが機能しなくなったが、訪問サービスにて柔軟に対応できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	4	8		14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		2	9	3	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	6	3	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	7	4	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 コロナ禍で面会制限がある中で、ご家族にはご本人の日頃の様子を伝えたり、構わって頂けることはお願いし、関係が継続できるよう支援している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 地域との関係性については分かりにくい。把握ができていない(しにくい)

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 地域の資源や保険外サービスについて、調べ職員間で情報共有後にご家族やご本人に説明したり、参加への働きかけを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 17日 (金)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 古川晃 岩村茉莉 松田あかね 福岡輝  
宮脇麻衣子 高福幸子 新野綾香 兵頭信也  
吉田真紀子 中村嘉孝 曾根環 田中絵莉子  
日野佳子 菅原佐代子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?			14		14

前回の改善計画	ご本人及びご家族のニーズを十分把握し、事業所だけにとらわれず、地域の社会資源など柔軟なサービスを活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始時にご本人や家族のニーズを聞き取っている。地域の資源の活用は訪問診療や訪問看護などご本人に必要な最低限の社会資源は活用できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		1	9	4	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	5	4		14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	9	3		14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	12			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 各利用者・家族のニーズに合わせ、宿泊、通所、訪問を柔軟に組み合わせて対応できている。また、連絡ノートや申し送りを通して、都度、変わった事があれば情報共有できている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域資源の活用について、必要最低限な物しか活用できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ご本人、家族のニーズに対応するために、事業所で足りない部分を地域資源で補えないか、ミーティング等で検討する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 17日 (金)

6. 連携・協働

メンバー 古川晃 岩村茉莉 松田あかね 福岡輝  
宮脇麻衣子 高福幸子 新野綾香 兵頭信也  
吉田真紀子 中村嘉孝 曾根環 田中絵莉子  
日野佳子 菅原佐代子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		1	11	2	14

前回の改善計画	コロナ禍ではなかなか外部との交流や参加が難しい状況ではありますが、その中で事業所として何ができるか考えたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	前年と変わらず、コロナ禍のため、外部との交流は行えなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	2	4	7	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1			13	14
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		2	1	11	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			3	11	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること CMはサービス担当者会議や退院前カンファ、包括支援センターとの会議に参加できている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍のため、各会議やイベントの出入り制限があり、参加できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 新型コロナウイルス自体が5類に引き下げられ、制限が緩和されるため、会議やイベントの参加の際は、引き続き感染対策を行い参加していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 17日 (金)

7. 運営

メンバー 古川晃 岩村茉莉 松田あかね 福岡輝  
宮脇麻衣子 高福幸子 新野綾香 兵頭信也  
吉田真紀子 中村嘉孝 曾根環 田中絵莉子  
日野佳子 菅原佐代子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?			9	5	14

前回の改善計画  
 コロナ禍では、引き続きホームページや広報誌を使って、取り組みを紹介していきたい。コロナの収束時には催しなどを通じて地域との関わりを深めたい。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 法人のホームページをリニューアルし、見やすくなった。しかし、コロナ禍のため外出も少なく、取り組みの紹介があまりできなかった。日頃のレクレーションの様子など紹介できればよかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	2	6		6	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	4	1	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	8	4	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	5	8	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 利用者や家族・地域からの意見など、上がれば職員にも周知し意見を求めるようにしている。また、職員にも提言を求め、上がればその都度、皆で検討している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 今年もコロナウイルス感染症の影響で色んな行事やイベントが中止になり、地域との繋がりが希薄である。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 職員の意見について、全職員が意見を言えるように提言メモなど活用し、意見を言いやすい工夫をする。また、地域に関しては、5類に引き下げられるため、地域の行事に参加したり、法人の行事に参加して頂いたり、地域との関わりを積極的に持ちたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 17日 (金)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 古川晃 岩村茉莉 松田あかね 福岡輝  
宮脇麻衣子 高福幸子 新野綾香 兵頭信也  
吉田真紀子 中村嘉孝 曾根環 田中絵莉子  
日野佳子 菅原佐代子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		1	5	8	14

前回の改善計画	サービス及び介護の質を向上するためにも、研修を通して職員一人一人のスキルアップは必要不可欠です。また、コロナ禍の状況にもよりますが、出来るだけ地域連絡会にも参加していきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	法人が定めた時期に職員会内にて、研修を行っている。また、新人職員が入社した際は事業所独自に新人研修を行えた。地域連絡会にはCMが参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		6	7	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	5	5	14
③	地域連絡会に参加していますか		1		13	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	1	6	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職場内研修は職員会内で実施している。また、職員会内で事故報告書、ヒヤリハットの検討を行っている。地域連絡会についてはCMのみ参加している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍でミーティング自体の回数が少なく、書面開催が多かったため。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 法人内の研修を活発にし、外部の研修にも参加する。外部研修の報告会も行い、皆に還元する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 17日 (金)

9. 人権・プライバシー

メンバー 古川晃 岩村茉莉 松田あかね 福岡輝  
宮脇麻衣子 高福幸子 新野綾香 兵頭信也  
吉田真紀子 中村嘉孝 曾根環 田中絵莉子  
日野佳子 菅原佐代子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	4	7		14

前回の改善計画	申し送りなど利用者に関わる話をするときは、場所や声量、言い方に工夫する。また、プライバシーや尊厳を守るという点では各職員が自分に置き換えて、自分の不快に思うことを利用者にしていないか考える必要がある。
前回の改善計画に対する取組み結果	あまりできていない職員が一定数いる現状、人権、プライバシーに関する事については各職員、自分は出来ていると自信を持って言えるよう、研修など通して指導する必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	14				14
②	虐待は行われていない	14				14
③	プライバシーが守られている	5	9			
④	必要な方に成年後見制度を活用している	14				14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	10			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束や虐待は研修を通して理解し、行われていない。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 成年後見制度については、利用している方はおられない。現状、使っている方はいないが、制度への知識や理解が不十分である。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 申し送りなどで利用者に関わる話をする場合、場所や声量、言い方に工夫する。(特に排泄関係) また、自分がされて不快に思うことを利用者にしていないか、利用者の立場になって考える必要がある。
---------------	--

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	5		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	5		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・取組み姿勢はいいと思う。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・コロナによる影響で取組結果が出せなかった点があると思うがこれは仕方がないと思う。前回の改善計画を踏まえたうえで、わかりやすい表現で具体的な改善計画になっていると思う。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・事業所自己評価については、今後もスタッフに対して実施の目的や趣旨等、意識付をしたらうえで行ってほしい。

【改善計画】※後日記入

事業所自己評価表、外部評価表及びサービス評価総括表をミーティング時に周知し、改善計画に基づき、質の高いサービスの提供に努める。また、目につく場所に掲示し確認する時間を持つ。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	4		1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	4		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

コロナ対策として、換気や消毒、手洗い、うがい、マスク着用を徹底する。  
また、コロナ禍で外になかなか出られないので、四季に応じたしつらえを意識する。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・今後とも、清潔感のある施設環境の整備に努めてもらいたい。
- ・感染症対策は大変だと思う。スタッフの皆さんはよくやっている。

【今回の改善計画】※後日記入

コロナクラスターが発生したことを踏まえ、改めて標準予防策を再確認する。また、5類感染症に引き下がっても、感染対策は変わらず行っていく。

また、5S活動にも力を入れる。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		1
1	職員はあいさつできていますか？	4		1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3		2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	2		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

コロナ禍で地域との関わりが希薄になっている。感染状況を見ながら、地域の行事に参加したり、法人の行事に参加してもらえるよう準備を進める。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

・コロナの影響で地域とのかかわりが希薄にならないように、事業所からの情報発信は継続してもらい、今後とも地域との良好な関係性を継続してもらいたい。

【改善計画】※後日記入

地域活動への参加、地域に向けた活動を展開し、地域の方との交流を持つ。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4		1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	1		4
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	1		4
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		3

<p><b>【上記5つのチェック項目に関する意見】</b></p>
<p><b>【前回の改善計画】</b>                  コロナの感染状況を見ながら、少しずつ地域参加に向けた活動を検討する。事業所として、地域参加への活動が可能と判断できた想定をし、参加や活動できるように準備しておく。</p>
<p><b>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</b>                  ・コロナ禍ではあるが、利用者と地域とのつながりが継続できるよう、積極的に必要な情報の提供や取得といった取り組みを行ってほしい。</p>
<p><b>【改善計画】※後日記入</b>                  地域行事への参加、散歩や外出、ドライブの機会を持ち、地域に出向く機会を作る。</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？			5
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？			5
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

書面開催が継続している中、円滑な情報共有や意見交換ができるよう、書面だけではなく、電話等で意見聴取など行うよう検討する。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

・運営推進会議を通して様々な意見を集約し、課題分析の上、改善につながる取り組みを行っていると思う。引き続き改善計画に取り組んでほしい。

【改善計画】※後日記入

運営推進会議により、ボランティアの拡充や地域交流の機会を増やす。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？			5
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1		4
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		5	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

防災訓練を行うと共に、防災グッズの点検や、防災マニュアルの確認、手順の再確認を行う。また、コロナの状況次第では、訓練時に地域の方の参加を呼び掛け、協力できるよう努める。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

・防災については、事業所全体で同様の知識習得を目指してもらい、訓練や研修に欠席した場合は資料を供覧するなどして防災に努めてほしい。

【改善計画】※後日記入

通常の火災や地震の想定訓練に加え、AEDの使い方も訓練内容に盛り込み、全職員が正しく使えるようにする。  
防災グッズの点検、防災マニュアル・手順の再確認を行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人ともの家	代表者	永和志野	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的な雰囲気、自分らしく過ごせるようなケアに努めています。</li> <li>・職員の半数以上が介護福祉士で、専門性の高いサービスを提供します。</li> <li>・常勤看護師を配置しており、医療的ケアにも対応しています。</li> <li>・地域交流やクラブ活動等のレクリエーションも盛んです。</li> </ul>
事業所名	小規模多機能ホーム ともの家	管理者	古川晃		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	1人	2人	人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	外部評価シート及び総括表を会議時に周知し、今回の改善計画に基づき、質の高いサービスの提供に努める。	職員の入れ替わりが過半数あり、なかなか周知するまで至らなかった。よく見る場所などにわかりやすく掲示等するなど、意識づけが大切である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組み姿勢はいいと思う。</li> <li>・コロナによる影響で取組結果が出せなかった点があると思うがこれは仕方がないと思う。前回の改善計画を踏まえたうえで、わかりやすい表現で具体的な改善計画になっていると思う。</li> <li>・事業所自己評価については、今後もスタッフに対して実施の目的や趣旨等、意識付をしたうえで行ってもらいたい。</li> </ul>	事業所自己評価表、外部評価表及びサービス評価総括表をミーティング時に周知し、改善計画に基づき、質の高いサービスの提供に努める。また、目につく場所に掲示し確認する時間を持つ。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ対策として、換気や消毒、手洗い、うがい、マスク着用を徹底する。また、コロナ禍で外になかなか出られないので、四季に応じたしつらえを意識する。	換気・消毒。手洗い、うがい、マスクの着用といった基本の対策は行っていたが、年末にコロナ感染者が出てしまい、クラスターが起った。再度、基本的感染対策を確認する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後とも、清潔感のある施設環境の整備に努めてもらいたい。</li> <li>・感染症対策は大変だと思う。スタッフの皆さんはよくやってくれている。</li> </ul>	コロナクラスターが発生したことを踏まえ、改めて標準予防策を再確認する。また、5類感染症に引き下がっても、感染対策は変わらず行っていく。また、5S活動にも力を入れる。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ禍で地域との関わりが希薄になっている。感染状況を見ながら、地域の行事に参加したり、法人の行事に参加してもらえよう準備を進める。	今年度もコロナ禍であったため、地域との関わりは出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で地域とのかかわりが希薄にならないように、事業所からの情報発信は継続してもらい、今後とも地域との良好な関係性を継続してもらいたい。</li> </ul>	地域活動への参加、地域に向けた活動を展開し、地域の方との交流を持つ。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナの感染状況を見ながら、少しずつ地域参加に向けた活動を検討する。事業所として、地域参加への活動が可能と判断できた	今年度もコロナ禍であったため、地域への活動に参加できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍ではあるが、利用者地域とのつながりが継続できるよう、積極的に必要な情報の提供や取得といった取り組みを行っ</li> </ul>	地域行事への参加、散歩や外出、ドライブの機会を持ち、地域に出向く機会を作る。

	想定をし、参加や活動できるように準備しておく。		てもらいたい。	
E. 運営推進会議を活かした取り組み	書面開催が継続している中、円滑な情報共有や意見交換ができるよう、書面だけではなく、電話等で意見聴取など行うよう検討する。	今年度もコロナのため、書面開催のみだった。電話等で意見聴取も行えていない。	・運営推進会議を通して様々な意見を集約し、課題分析の上、改善につながる取り組みを行っていると思う。引き続き改善計画に取り組んでほしい。	運営推進会議により、ボランティアの拡充や地域交流の機会を増やす。
F. 事業所の 防災・災害対策	防災訓練を行うと共に、防災グッズの点検や、防災マニュアルの確認、手順の再確認を行う。また、コロナの状況次第では、訓練時に地域の方の参加を呼び掛け、協力できるよう努める。	年に2回の防災訓練を通して、その都度、防災に関する意識づけを行えた。まだコロナ禍のため、地域への呼びかけはできなかった。	・防災については、事業所全体で同様の知識習得を目指してもらい、訓練や研修に欠席した場合は資料を供覧するなどして防災に努めてほしい。	通常の火災や地震の想定訓練に加え、AEDの使い方も訓練内容に盛り込み、全職員が正しく使えるようにする。 防災グッズの点検、防災マニュアル・手順の再確認を行う。